



平成三十八丙申歳 諏訪大社式年造営御柱大祭

富士見町
東三地区

おんばしら通信



境・本郷・落合地区 大総代会・記録係 平成28年5月11日発行



本宮三 上社の杜で 神となる

五月五日（木）御柱祭の最終日、当地区が担当した本宮三は二千人の氏子に見守られながら建て御柱が行われました。斧方係による冠落しの後、三十四人の氏子に乗せた御柱がゆっくりと立ち上がっていきます。十五時四〇分見事、垂直に立ち、大総代による万歳、斧方長によつて御幣が打ち付けられました。氏子の皆さん大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

大総代お礼の言葉

境地区大総代（信濃境）
飯田 幹夫
本郷地区大総代（立沢）
植松 久永

平成二十八年御柱祭を振り返って、まず本宮一の不幸な事故の犠牲者にご冥福をお祈り申し上げるとともに、遺族の皆様にも心からお悔やみ申し上げます。また、四賀・豊田地区の氏子の皆様にお見舞い申し上げます。さて本宮三の御柱に関しましては、山出しから里曳き、最後の建御柱までいすれも素晴らしい曳行、曳建をしていただき、地域の皆様、関係していただいた役員、係の皆様にも心から感謝申し上げます。御柱とは地域の絆をこれほどまでに強めるものかと改めて実感させて頂きます。本宮三にありがとうございました。



お疲れ様でした！
大総代、正副幹事長、各部署係長



若宮前鳥居を抜けて、いざ本宮へ！

斧方長 中山一(信濃境)
 最終章、無事大社に納めて頂きました御柱、斧方一同氏子の皆様方の代表として最後のお務め、冠落としをさせて頂き大変光栄に思います。精一杯、一振り一振りの皆様方のご声援と共に願いと熱き魂を込め刻みました。山出し、里曳きと大変お疲れ様でした。皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本当に有り難う御座いました。

副係長 平出昌寛(信濃境)

山出しから里曳きまで、本当にお疲れ様でした。長期間の準備、練習、会議、どれも大変でしたが、良い仲間にも恵まれ「安全に、仲良く、楽しく、美しく」終わることができました。今回の課題は次回に必ず繋げていきたいと思っております。ありがとうございました。



建方長 小林弘幸 (富士見鉄工)
 大総代はじめ皆様のご協力のもと、一人の怪我人もなく建方が無事成功した事に、建方衆を代表して厚く御礼申し上げます。また、練習の手伝いから当日の後片付等、氏子の皆様方のお借りしなければならず心苦しく思っておりますが、協力一致でできたことに深く感謝申し上げます。人の命を預かる甘くない仕事ですが、その中で皆さんの心意気を感じ、執り行うことが出来ました。「一柱入魂」嬉し涙が止まりません。



本宮三之御柱

記録係の方々が撮影した素晴らしい写真を本宮三のホームページからダウンロードできます。現在「準備編」「山出し編」が用意されていますが「里曳き編」も整理し、順次アップしていきます。総数1万枚を超える中からとっておきの1枚を探し出してください！

御柱 東3

平成二十八年丙申本宮三之御柱
「記録写真集」 編集中!

1冊 ¥500

御用材の見立て、準備、抽籤式、木造り、山出し、里曳きまでを1冊の写真集にまとめています。各集落を通じて注文を受け付け6月中旬に発刊予定です。なお今回、御寄付を頂いた方には御礼記念品として配布させていただきます。

